

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3	2	必修
担当教員			
黒川 浩美			
水4、木2			
添付ファイル			

科目の概要	<p>応用栄養学Ⅱではとり上げるライフステージは、妊娠期、授乳期、新生児期、乳児期、幼児期である。各ライフステージにおける栄養補給の適否は直接的に身体的心理的影響を与える。たとえば、妊娠期では正常な妊娠の持続、胎児の発育、正常な出産、産後の回復、母乳の分泌などにも影響する。このように、それぞれのライフステージの生理的特徴を理解し、それを踏まえた栄養アセスメントや栄養管理について学ぶ。さらに、各ライフステージの特徴に対応した食事摂取基準についての考え方や、応用栄養学Ⅰで学んだ栄養アセスメントをより具体的な展開方法を学ぶ。</p>
授業の内容	<p>第1回 オリエンテーション（授業の進め方、成績評価の説明等）      妊娠期の特徴      ・母体の変化と胎児の成長について      ・妊娠期の栄養</p> <p>第2回 つわりと妊娠悪阻・体重管理についての栄養ケア      ・妊婦が抱える問題に対して、具体的なアセスメント、栄養管理について</p> <p>第3回 妊婦の貧血、妊娠糖尿病についての栄養ケア      ・妊婦の疾病、具体的なアセスメント、栄養管理について</p> <p>第4回 妊娠高血圧症候群についての栄養ケア      ・妊婦の疾病、具体的なアセスメント、栄養管理について</p> <p>第5回 妊娠期の栄養指導方法      ・集団栄養指導・個別栄養指導について</p> <p>第6回 妊娠期の栄養指導方法を具体化      ・妊婦の栄養ケア方法について、グループワークを行う。</p> <p>第7回 妊娠期の栄養指導方法を具体化（発表）      ・前回のグループワーク内容について、発表する。</p> <p>第8回 授乳期の栄養      ・授乳期の特徴と栄養      ・授乳期の食事摂取基準</p> <p>第9回 授乳期の栄養とアセスメント      ・授乳期の栄養ケアについて</p> <p>第10回 乳児期の栄養      ・乳児期の特徴と栄養      ・乳児の食事摂取基準</p> <p>第11回 授乳・離乳の支援ガイド      ・離乳食の進め方</p> <p>第12回 幼児期の栄養-1      ・幼児期の特徴      ・幼児期の食事摂取基準</p> <p>第13回 幼児期の栄養-2      ・成長期の栄養アセスメント</p> <p>第14回 食事摂取基準の基礎的理解      ・エネルギー・栄養素別 食事摂取基準</p> <p>第15回 ライフステージごとのまとめ      ・各ライフステージの特徴と具体的な栄養アセスメント</p> <p>定期試験</p>
学習到達目標	<p>各ライフステージの生理的特徴をふまえた栄養管理の考え方を説明できる。      各ステージにおいて栄養状態の評価・判定・栄養ケアプロセスの計画・実施など一連の栄養マネジメントができる。      国家試験に向けた基礎知識を理解している。</p>
授業の方法	<p>講義形式、グループワークと発表      ・グループワーク：授業の進行に合わせ、グループワークを取り入れます。</p>
成績評価の方法	<p>定期テスト 60%      まとめ発表 20%      提出物・積極的参加度 20%</p>

教科書・テキスト	スタディ応用栄養学（建帛社）東條仁美 編著 日本人の食事摂取基準（2020年版）
参考書	授業中に紹介する
授業時間外の学修について（事前・事後学習について）	授業での課題は、提出期限内に必ず提出すること
履修上の留意事項	グループワーク、発表など積極的に参加すること。
オフィスアワー	水～金 15：00-16:00
実務経験	管理栄養士
その他	